

(様式1) 実践事例

学校名	二本松市立東和中学校	校長名	仁平光俊		
住所	二本松市針道字大町西1番地	児童生徒数	158名	学級数	7
TEL	0243-46-2103	ホームページアドレス	http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/towa-jhs/		

「夢はでっかく東和中」

小中連携を 生かした取組等



【春の東和中】



【東和ロードレース大会】

1 少人数指導の計画等

- (1) 東和小学校と東和中学校は、同じ敷地内に建っている。小学校と中学校をつなぐ橋を渡れば教職員や児童生徒の移動も簡単にできる。
東和小・中学校でしかできない利点を生かした少人数指導を実践している。
- (2) 年間を通じて、東和小と東和中教員が、主に算数、数学、保健体育の教科において、T・T授業等で、相互に交流している。
- (3) 毎週小・中において、時間割を交換・調整し、双方の時間割に小中交流の教科・学年学級を明確に位置づけ計画的に実施している。

2 実践の概要

(1) 小中連携を生かした少人数指導



【東和小中交流ブリッジ】



【外国語活動】



【数学T・T】

【少人数指導の具体例】

- ① 算数(小6:週1回)・・・小6担任、数学科教諭によるT・T授業
- ② 数学(中1:週1回)・・・数学科教諭、小6担任によるT・T授業
- ③ 体育(小1・2:週1回)・・・小1・2担任、保健体育教諭によるT・T授業
- ④ 外国語活動(小5・6:週1回)・・・小5・6担任、英語科教諭によるT・T授業
 - 毎週月曜日、小5、6の学級へ英語科教諭が出向き、担任の先生とALTの3名で分担をしながらネイティブスピーカーの役割をしている。

(2) 小中教職員の交流

- ① 年度当初に東和小・中の教職員が一堂に会し、小中合同の行事、現職教育、学力向上の取組、学力向上グランドデザイン、生徒指導上の共通理解、小中交流の要望事項等について協議し共通理解を図った。
- ② 授業における取組、個に応じた細やかな指導、NRT等の分析による課題把握と指導の焦点化を図っている。

(3) 補欠授業「0」をめざした1週間単位での時間割の組み替えとデジタル教科書の積極的な活用による学力向上

- ① 本校では、教科担当教員の出張や年休の際の授業に対応するため、週単位での授業の組み替えを実施し、補欠授業「0」の完全授業をめざしている。
- ② デジタル教科書を積極的に活用した授業を展開したことにより、生徒の興味・関心が高まり学力向上につながった。



3 実践の成果と課題

- 授業交流や教師間の交流等の小中連携に積極的に取り組み、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階での「中1ギャップ」解消につながり、円滑に中学校生活が送れるようになってきた。
- 一斉指導のもつ問題点を少しでも取り除き、課題解決のための十分な時間を確保することによって課題解決ができるようになり、意欲の喚起や自信へとつながっている。
- 教師間の交流だけでなく、児童生徒間の交流も含めて、より高い教育効果が望める取組を今後も検討していく必要があります。